

(写真：11/20 夕陽に映る畑地風景：協和 中央橋付近)

たんの地域振興だより

発行/編集：端野総合支所 総務課 地域振興担当 (TEL56-2113)

「師走(しわす)」

12月、一年で最後の月。

本当に一年は早いものです。今年を振り返り、みなさんにとって、どんな一年でしたでしょうか。

この「たんの地域振興だより」も今年5月の発行から、8回目を迎えました。地域振興担当では今年「小さな一歩」を大切に、様々な挑戦を心掛けてきました。ある新聞コラムに

こんな言葉がありました。

「豊かさとは、

比べるものではなく、

自分で感じるものだ」

私たちはつい比較しがちになります。本来、自分の価値観が大切なのに……

では、端野自治区にとって「豊かさ」とは何か。

多種多様な考えはありますが、最終的には「人」ではないでしょうか。

端野では昔から言われてきた言葉

「まちづくりは、人づくり」。

まちづくりの模索は、来年も続く……

・・・山林火災防御総合訓練(端野町忠志「森と木の里」)・・・

11月15日(土) 端野町忠志の「森と木の里」で端野消防団や北見地区消防組合、北見市、北見広域森林組合、森林管理署など約120名が参加し、山火事に備える総合訓練が行われました。



森林火災は、現場までの林道事情や水の確保が難しく、消防車の機動性が発揮できずに延焼拡大の恐れもあることから、訓練では、防火水槽を設置したり、残火処理を行うため、大勢の人が背中に水を背負ったジェットシューターによる消火訓練も行われました。

・・・乾燥している季節です。一人ひとりが、火の元に気をつけましょう!・・・



・・・【 端野まちづくり協議会 答申 】・・・



端野まちづくり協議会では、9月4日櫻田市長より「端野自治区内事業の今後のあり方について」諮問を受け、10月9日、10月28日、11月10日と協議会を開催し、答申に向けた協議を重ねてきました。



9/4 櫻田市長から諮問を受けた協議会

本年度からは「北見市総合計画 後期基本計画」がスタートし、平成 26 年度から平成 30 年度までの具体的な施策の展開を示す各自治区の「今後の重点施策」に基づき、総合計画の将来像実現に向けて、各自治区が自らの責任と選択により特色を生かしたまちづくりを加速させなければなりません。

端野まちづくり協議会では、各課から今後進める自治区内事業について説明を受け、住民目線や利用者の立場に立った視点から、後期基本計画に掲げる端野自治区の今後の重点施策

- ① 「豊かで活力に満ちた農業の振興」
- ② 「生きる力を育む教育の振興と
子育て支援・生涯学習の推進」
- ③ 「快適で安全な居住環境を活かした
定住対策の促進」

に基づき、第7次実施計画に盛り込むべき事業について、議論を深め答申書をまとめました。

答申書をまとめるにあたって、まちづくり協議会委員からは、「小学校移転改築に伴う通学路の安全対策や道路整備の着実な実施」や「親交団地建替えに伴う駐車スペースの十分な確保」など様々な意見が出されました。

端野まちづくり協議会としては、要望事業 50 事業を採択し、その中でも特に採択順位や優先順位が高いと考える 7 事業を最優先事業として、その必要性や地域事情を答申書に盛り込みました。



10/28 まちづくりについて
意見を交わす協議会の様子

11月21日、端野まちづくり協議会から岡村廉明会長、山内幹司副会長が出席し、市長応接室にて櫻田市長に答申書が手渡され、地域事情や事業の必要性が話し合われました。



11/21 岡村会長、山内副会長から
櫻田市長へ答申

答申書では、今後の課題として、「端野図書館」や「旧学校跡地利用」、「人づくり」等についても触れており、端野自治区として今後議論を深めていかなければなりません。

～協議経過・答申書は北見市ホームページの「まちづくり協議会」をご覧ください。～